

第60回岡山県総合バスケットボール選手権大会

日 時	2014年10月5日(日)	女子	決 勝
会場名	桃太郎アリーナ	(C)コート	

倉敷芸術科学大学	62	}	18 - 18 17 - 17 15 - 27 12 - 11	}	73	環太平洋大学
----------	----	---	--	---	----	--------

審判名	主 審	副 審	
-----	-----	-----	--

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
伊藤 萌子	7	0					山田 真帆	4	5	1	1		1
酒榮 佑美	8	0					松山 綾子	5	0				
坂本 涼花	10	0					齊藤 ひかり	6	0				
小松 千紘	11	0					二宮 瀬莉奈	7	0				
佐々木 彩華	12	0				1	八木 柚香	8	0				
谷口 紅姫	15	7	1	2		1	畝本 奈穂	9	2		1		
妹尾 彩花	16	0					勝山 果歩	10	0				
渡部 彩子	18	0					時任 由依	11	10		5		1
小嶋 菜月	19	10	1	3	1		新垣 楓	12	0				
高橋 美鈴	20	0					前田 奈々	13	13		5	3	2
松井 花恵	21	0					中島 麻紗子	14	8	2	1		1
那須 友莉奈	23	5	1	1			宮川 瞳	15	16	2	5		2
本山 ひとみ	24	0					筒井 悠月	16	9	1	3		1
松成 桃葉	25	0					須川 奈保子	17	0				
山永 友美	27	20	1	8	1	4	下條 真奈	18	0				
児玉 聖美	39	20	4	4		4	山崎 瑛奈	19	10		3	4	3
合 計		62	24	36	2	10	合 計		73	18	48	7	11

戦 評

1Q 両者ともにマンツーマンでスタート。IPUは#15の3Pで#19のカットインなどで先制するが芸科大も#19のゴール下、#15の3Pなどで応戦。IPU#11の速攻や#15がゴール下を決めるが芸科大も#39や#23がJSを決めるなどして食い下がり18-18の同点で終了する

2Q IPUは#16のドライブや#11のJSで22-18とし、芸科大開始1分ほどでタイムアウト。IPUは#9のJSや#11のターンシュートで26-20とするも芸科大も#27 や#15のJSで応戦する。芸科大は残り4:30でT. O. をとりDFを2-3ゾーンにする。IPUは#16や#13の3Pで引き離そうとするが芸科大も#19の3Pや#39、#27がゴール下を頑張り35-35の同点で2Q終了

3Q 芸科大は#19のバスカンで先制するもIPUはDFを2-1-2ゾーンに切り替え、#15がゴール下を頑張り、#14が3Pを連続ゴールするなどしてIPUが51-43と8点差を引き離し、芸科大T. O. をとるも芸科大は2-1-2ゾーンを攻めあぐね、IPUは#23のカットインや#15の速攻、#4のドライブからのJSなどで引き離しにかかる。芸科大もようやく#27のJS、#39の連続3Pなどで59-49の10点差まで食い下がるとIPU残り2:28でT. O. IPUはDFをマンツーマンに切り替え、芸科大は2-3ゾーンとDFは逆の展開となるがIPU#4が3Pを決め、芸科大はFTによる1点止まりで62-50で終了

4Q 芸科大はDFを再びマンツーマンに戻し#39の3Pで得点するも、IPU#4のドライブからのJS#11のリバウンドシュートでさらに引き離しにかかる。IPUもDFをマンツーマンに戻すが、芸科大オフェンスのミスが目立ちT. O. をとり、リズムを立て直そうとする。その後芸科大#39と#23の連続3Pで食い下がるがIPUも#13や#15がゴール下を決め73-59とする。芸科大は#27が3Pを決め、DFの当たりを強めるも点差は縮まらず73-62でIPUが7年連続7回目の優勝を飾る